

# 結女だより

2023年3月1日発行

©企業組合ワーカーズ・コレクティブ結女

西東京市泉町3-15-28

電話042-425-3800



3月は『弥生』春たけなわ、  
様々な春の花が咲く頃です。

草木が「いよいよ生い茂る」  
という意味の「いやおい」から  
変化した、などといわれます。

昔から「春は苦いものを食べ  
よ」と言われています。苦味の  
ある山菜にはミネラルやポリフ  
ェノールなど、細胞を活性化さ  
せる成分が多く含まれていま  
す。

冬から春へ体も活動するた  
めの準備を始めるこの時期にふ  
さわしい食材なのですね。

野菜や果物では、うどの酢味  
噌和え、からし菜のおひたし、  
新きゃべつとベーコンの煮物、  
筍とがんもの煮物、菜の花の胡  
麻和え、若布、伊予柑など。

魚介だと鱈、さより、ニシ  
ン、ホタルイカ、真鯛、さざ  
え、蛤などが旬です。

結女でも季節の食材を  
取り入れるようにしています。

## 《三月 別れも出会いも》

春めいた色とともに、3月が  
やってきます。

3月は、卒業や、就職、転勤  
などで、別れの季節でもあり  
ますね。

いろんな方に感謝をしながら  
の別れもありますが、新しい  
土地での出会いや、不安、結  
女、ワクワクの気持ちなど、  
様々な感情に出会う時です。

長いコロナ禍では、親しい人  
とお花見や旅行もできず、寂  
しい気持ちも続きます。

5月からはコロナもインフル  
エンザと同様になり、マスク  
も外して良いとのことですが、  
そうとは言っても、すぐ  
に外せるわけではありません  
。コロナがなくなったわけ  
ではありませんから。

まだまだ気を付けながら、穏  
やかな春の日を静かに楽しみ  
たいものですね。

# 〔ひとことコラム〕

お昼ご飯を食べながら出てきた話を  
少しご紹介します



春の訪れを知らせてくれる「春一番」。  
寒い冬の間、待ち遠しい春の知らせの一つですね。  
春一番は北日本と沖縄を除く地域で、発表されます。  
2月4日頃の立春から3月21日頃の春分までの間に、広い範囲で初めて吹く暖かくやや強い南風のことを、気象庁では春一番と定義しています。

春は、春一番に限らず風の強い季節ですが、暖かい春の風を楽しんでみましょう。

幅広い人気のカレーパンは、昭和初期の1972年、東京・深川区のパン屋さんで誕生したという説が有力です。

その頃は洋食が世間一般に広まりつつあり、カレーライスやカツカツが人気だったそうで、これをパンに応用して、パン生地にカレーの具材を包みカツカツのように衣をつけて上げる方法を生み出したとか。その斬新さと腹持ちの良さで大ヒット。みんなに親しまれるカレーパンが誕生しました。

近年は健康志向の高まりから、油で揚げずにオーブンで焼くなど、焼きカレーパンも増えています。

焼く場合はパン生地の成型がしやすいため、いろいろな形のユニークなカレーパンも登場しています。

## 《関東大震災100年》

内閣府では、関東大震災の被害や教訓を伝える特設ホームページを開設したそうです。

100年前の1923年（大正12年）9月1日に発生し、自然災害では史上最悪の死者・行方不明者約10万5000人を記録した大規模震災の実像を伝えています。

ホームページでは関東一円の震度などを色分けした地図や、阪神・淡路大震災など、他の大規模地震との経済被害額の比較なども・・・。

節目の年に当時の被害状況を知り、災害への備えに取り組むきっかけにして欲しいとのことです。

